

第17回 イタリア コンcorso

イタリア世界遺産提携
国際育英事業

参加者募集

Italia Concorso MusicArte

～音楽コンクール～

国際力を高め、学び飛翔く!

ピアノ・声楽・ヴァイオリン・チェロ・フルート・クラリネット・
邦楽器 他。遠い世界が身近に感じられる贅沢なプログラムの
国際的イベント。国内外での修学の機会が与えられます。

音楽の才能を育て、未来に導く音楽コンクール

Stella ステッラ(スター)部門

—世界に飛翔くアーティストを目指す方、
音楽を通じて国際的な教養や技術を深めたい方—

プロとして活動されている方、「トッププレイヤー」を目指しておられる方へ、「力だめし」または、夢を現実につなげる「チャンス」として日頃の努力研鑽の技をのびのびと発揮してください。
上位受賞者はスター・プレイヤーとして、世界的な舞台へ飛翔ける数々のチャンスが与えられます。

Cultura クルトウーラ(教養)部門

—マイペースで音楽を学んでおられる方、愉しまれている方—

音楽を探索して教養や視野を深めたい方、趣味・マイペースで音楽を研鑽されている方、国際力を高め、芸術力・人間力向上を目指したい方、「力試し」、または、モチベーションUPのチャンスとして生かしてください。

応募方法
(予選)

WEB
で応募



または

郵送
で応募

【予選 応募締切】 ・規定書の応募概要をご覧ください。

予選 応募～審査結果 → 随時案内

1～2曲(プログラミング自由)を「ビデオ録画」または、「YouTube映像・オンライン」にて審査

- ①WEB応募＝HP内申込フォームより応募 (YouTube動画アップロード)
 - ②郵送応募＝収録USBメディアを申込用紙、参加料、返信封筒と一緒に郵送
- ※曲目自由・時間制限なし

ムジカアルテ



本選

A) 実技審査 ※AかBのどちらかを選べます
2024年

- 【横 浜】4月2日 大倉山記念館
- 【浦 安】4月4日 J-com浦安音楽ホール
- 【大 阪】4月7日 NHK大阪歴史博物館講堂
- 【名古屋】4月29日 スタジオあい(日本イタリア協会名古屋支部)

B) ビデオ録画 + オンライン・ライブ審査
(本選用録画※3ヶ月以内に収録) ※日時は個別決定
※詳しくはWEB規定書をご覧ください。



Teatro Olimpico

西洋建築のメッカVicenzaに現存する
世界一美しいと称される世界遺産テア
トロ・オリンピコ(世界最古屋内劇場)

世界
遺産



テアトロオリンピコ 世界最古の劇場【イタリア】
(屋内) イタリア世界遺産



【Italia】

高台寺音楽祭【京都】



【Italia】

【Italia】



【Italia】

【Italia】



【東京】

ミラノ国立音楽院総裁
フランチェスコ・ボレッリ氏
※当時▶

【東京】

出雲大社白伊親善特別記念演奏会
中央は、イタリア領事、出雲市長、
中川くにご理事長

ASSOCIAZIONE ITALO-GIAPPONESE

(社)日本イタリア協会

〒616-8047 京都市右京区花園宮ノ上町 51

TEL 075-466-5505 FAX 075-466-5510

Mail info@nipponitalia.com HP nipponitalia.com

日本イタリア協会 検索



▲公式サイト



▲ムジカアルテ公式サイト

Italia Concorso MusicArte

主催 (社) 日本イタリア協会

グラン・マエストロ Makizo NAKAGAWA 記念

2024年 (2023年度<後期>)

【規定書】

グラン・マエストロ 中川牧三記念 「イタリアコンcorso MusicArte・ムジカアルテ」

| 音楽コンクール / 国際育英事業 | イタリア世界遺産・国立音楽院・イタリア各市 提携

音楽の才能を育て、未来に導くコンクール

第17回 イタリア コンcorso ムジカアルテ



世界最古の屋内劇場 「テアトロ・オリンピコ」

国際力を高め、学び飛翔く！

基本を極め、技巧を磨き、

輝く響きと鮮明なライン、

深い思いやりと人間力、国際力を高めて

心を打つ、人を感動させる、

優しい感性が香を放つ、

そんな表現のできる芸術家を目指していただきたいと希っています。

日本のクラシック音楽界の草分けとして
礎を築いた音楽家



Gran Maestro Makizo Nakagawa

MO. 中川 牧三

日本イタリア協会創始者初代会長 MO. 中川牧三は、わが国の音楽芸術の発展を願って数々の功績を残しました。

コンcorso「MusicArte」(全部門)は本格的な経験を積むことによって、国際的感覚を磨いていただき大きく成長していただくことを希っています。芸術家には年齢はなく、幾つであっても目標に向けて邁進していただけますよう【参加資格を4歳～年齢制限なし】上限をなくしました。

マエストロ・ナカガワが「105年の人生をかけて築いた国際的なキャリア」によって培われた、貴重な人脈遺産は、大きなうねりとともにわが国のアーティストの為に動いています。

コンcorso「MusicArte」の入賞者は、それらの恩恵に浴し、歴史と芸術の宝庫イタリアをはじめヨーロッパと日本国内の世界文化遺産・重要文化財等に於いて、レベルの高い音楽の芸術性を感得できる特別なチャンスが得られます。

後援
協力

イタリア大使館 / イタリア文化会館 / ヴィチエンツァ市 / フィレンツェ市 /
ヴィチエンツァ国立音楽院 / フィレンツェ国立音楽院 /
ヴェネツィア国立音楽院 / パドヴァ国立音楽院 / ミラノ国立音楽院

日本イタリア協会
HP



コンcorso
musicarte.jp
<コンクール申込>



Stella

ステッラ (スター) 部門



Cultura

クルトゥーラ (教養) 部門



■ クラス・カテゴリ

- プロフェッショナルの部
- 一般の部
- 大学生の部 (短・大・院・専)
- 高校生の部
- 中学生の部
- 小学生の部 < 低学年 / 中学年 / 高学年 >
- 幼児 < 未就学 > の部

■ 専門

- ピアノ
- 声楽
- 弦楽器
- 管楽器
- 打楽器 < マリンバなど >
- デュオ
- 室内楽
- 邦楽 < 箏・尺八など >

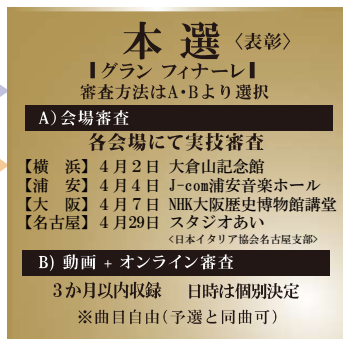
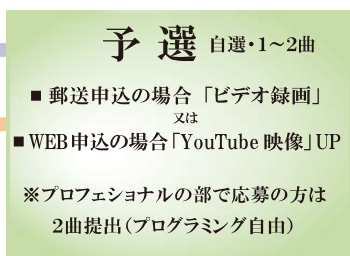
※室内楽・アンサンブル・合唱・合奏など、構成は自由



■ 応募概要



※今年度はセミファイナル(準本選)は割愛します



J-com浦安音楽ホール
2024年8月26日(月)開催

グラン・プレミオ
受賞者による
オールスターガラ
華麗なる競演

申込の流れ・部門

Stella

~ステッラ(スター)部門

Cultura

~クルトゥーラ(教養)部門

プロとして活動されている方、「トッププレイヤー」を目指しておられる方へ、海外活動を視野に入れて本格的に取り組みたい方、「力だめし」または、夢を現実につなげる「チャンス」として日頃の努力研鑽の技をのびのびと発揮してください。

上位受賞者はスター・プレイヤーとして、海外デビューのスカウトや国立音楽院への留学のチャンス、「国際芸術フェスティバル」など世界的な舞台へ飛翔ける数々のチャンスが得られます。

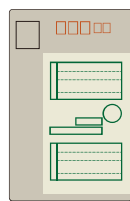
音楽を探求して教養や視野を深めたい方、趣味・マイペースで音楽を楽しみながら研鑽されている方、国際力を高め、芸術力・人間力向上をめざしたい方、「力試し」、または、モチベーションUPのベストチャンスとして是非生かしてください。

上位受賞者は国内外の世界的な舞台での演奏経験などのチャンスが得られます。

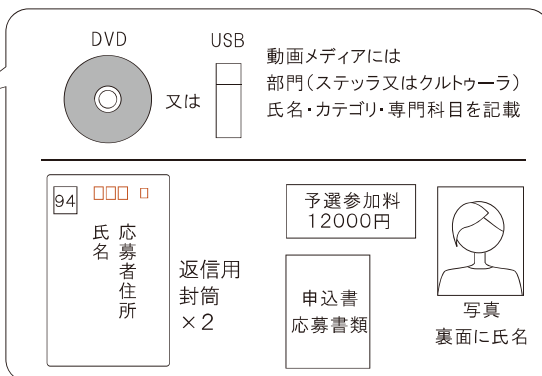
郵送の場合 ①~⑤を確認

①~⑤を全同封して、「現金書留」にて郵送

- ①収録動画メディア (DVD又はUSBのみ)
- ②申込書
- ③予選参加料
- ④返信用(定型長形3号封筒)×2通(予選・本選用)
宛先に住所・氏名(本人)を記載/94円切手添付)
- ⑤本人写真(上半身撮影・本人確認ができるもの)



送付用封筒イメージ
現金封筒大型



【送付先】

〒616-8047 京都市右京区花園宮ノ上町51 (一社) 日本イタリア協会 コンコルソ事務局宛

WEBの場合

イタリアコンコルソ

ムジカルテ
コンクール専用
ホームページ



ムジカルテ

検索

【予選エントリー/締切】

<本選別>

- 横浜本選(4/2) - 【予選締切/3月15日】
- 浦安本選(4/4) - 【予選締切/3月15日】
- 大阪本選(4/7) - 【予選締切/3月15日】
- 名古屋本選(4/29) 【予選締切/4月8日】
- On-Line --- 【予選締切/4月末日】
(Live審査/5月)

参加料

予選	12,000円	本選	16,000円
----	---------	----	---------

【振込先】※参加者名義でお振込みください

- 郵便局 記号14130 番号77355351
- ゆうちょ銀行 店番418 口座番号7735535
- 振込先名 シャ) ニホンイタリアキョウカイ

【特記】2022年度の最高位グランプレミオ受賞者は、予選参加料<6000円>

選考の流れ・部門

■ 審査委員／特別運営委員／歴代委員

※敬称略
※の委員は本協会役員兼任

芸術音楽監督



M^o.ルカ・ガリレオ (Vn)※審査委員長 世界的ヴァイオリニスト
 M^o. アルベルト・クビード (Vo)※世界的テノール
 M^o. カルミネ・カッリージ (P)※ボローニャ国立音楽院元学長
 M^o. ルチアーノ・アルベルティ※シエナ国立音楽院元学長
 故M^o. フランチェスコ・ボッレリ (P)※ミラノ国立音楽院元総裁
 故M^o. マルチェッラ・レーアレ (Vo)※新国立劇場最高コーディネーター
 M^o. マーク・ゴトーニ (Vn) ベルリン芸術大学ヴァイオリン科主任教授
 故M^o. マルチェロ・アップード (P)※ミラノ国立音楽院学長
 M^o. カティア・ローバ (Mez.)※国際声楽コン審査委員長
 M^o. パオロ・トルコン (P) ヴェネト州国立音楽院総裁



故M^o. 岩間 龍太郎 (Vn)※京都芸術大学名誉教授(当時) 京都コンサートホール初代館長
 故M^o. 服部克久 (P)※作曲家 京コンソル前運営委員長
 M^o. 澤 和樹 (Vn) 東京芸術大学学長
 M^o. 児玉 實英 (P)※元同志社女子大学学長 同志社大学名誉教授
 M^o. 中川くに子 (Vo)※元日本イタリア協会理事 総務・運営委員長
 M^o. 黒田安紀子 (Vo)※コンコルソ評議員
 M^o. 水谷川優子 (Vc)※コンコルソ評議員 チェリスト
 M^o. 丸山恵美子 (Vo)※コンコルソ評議員
 M^o. 伊藤 晶子 (Vo)※コンコルソ評議員 名古屋音楽元講師 名古屋オペラ協会元運営委員長
 M^o. 佐々木 真 (Fl)※全日本フルート協会会長

- アントニオ・マルティーニ … ヴァイオリニスト
- エンリーコ・バルボニ … ヴァイオリニスト
- マリオ・ポーバ ※ … イタリア外務省・元 即 大使・元 駐日 大使
- ティーナ・ヴィガーノ ※ … 伊 / レナータ・テバルティ財団名誉会長
- 故 マグダ・オリヴェーロ ※ … 世界的ソプラノ歌手
- 天野 春美 … 声楽家・大阪音楽大学元教授・日本イタリア協会評議員
- 故 岡田 晴美 … 声楽家・神戸女学院大学名誉教授・日本イタリア協会評議員・コンコルソ特別運営委員
- 門屋 菊子 … 声楽家・相愛大学名誉教授・日本イタリア協会評議員・コンコルソ特別運営委員
- 故 山口 淑子 … 声楽家・俳優・元参議院議員

■ 主な審査員 (歴代含) 五十音順・敬称略 (職責等変更されている場合があります)

- 石崎 俊子 … ヴァイオリニスト
- 伊藤 真理 … ピアニスト
- 岩野 めぐみ … ピアニスト
- 岩澤 麻子 … ヴァイオリニスト
- 今城 淳行 … 声楽家・同志社女子大学名誉教授
- 大林 敦子 … 声楽家・相愛大学・同志社女子大学講師
- 扇谷 勉 … 評論家・NHK 音楽プロデューサー
- 釜洞 祐子 … 声楽家・東京音楽大学教授
- 川上 洋司 … 声楽家・東京芸術大学教授
- 小林 一男 … 声楽家・国立音楽大学客員教授・日本イタリア協会評議員
- 澤脇 達晴 … 声楽家・名古屋芸術大学教授
- 塩田 美奈子 … 声楽家・洗足学園音楽大学教授・日本イタリア協会評議員
- 下田 幸二 … ピアニスト・相愛大学音楽学部特任助教授・フェリス学院大学・桐朋学園大学講師
- 竹中 もとみ … 室内楽奏者 (Pf.)・スポーツ演技音楽コーディネーター
- 立花 三恵 … 声楽家・日本イタリア協会理事
- 多田 佳世子 … 声楽家・Ikuno-Musica 教授
- 故 田島 好一 … 声楽家・国立音楽大学名誉教授・日本イタリア協会評議員
- ダンテ・マツォーラ … ミラノスカラ座研修所教授
- 植野 雅子 … 声楽家・日本イタリア協会評議員・浦安地区委員長
- 土佐 誠 … 声楽家・名古屋芸術大学教授・日本イタリア協会評議員
- 戸引 小夜子 … ピアニスト・元国立音楽大学講師
- 豊田 裕子 … ピアニスト
- 直野 資 … 声楽家・東京芸術大学教授・日本イタリア協会評議員
- 原 拓也 … 声楽 テノール
- 原口 摩純 … ピアニスト
- 林 廣子 … 声楽家・お茶の水大学教授・日本イタリア協会評議員
- 福崎 至佐子 … ヴァイオリニスト・高松大学教授
- マウロ・イウラート … ヴァイオリニスト
- 益田 みどり … ヴァイオリニスト・日本演奏指導者協会 関東支部常任理事
- 松波 千津子 … 声楽家・名古屋芸術大学教授
- 三井 文美 … 生光学園教諭
- 三好 荒山 … 尺八演奏家
- 横田 まきこ … ヴァイオリニスト



グラン・フィナーレ審査風景
 左：ミラノ・ヴェルディ国立音楽院総裁
 フランチェスコ・サヴェリオ・ボレリ氏
 右：ボローニャ国立音楽院元学長
 マエストロ カルミーネ・カッリージ

■ 近年の代表的な催事

- 2023年 8月 20日 オールスター・ガラコンサート in JAPAN・KYOTO
- 2023年 8月 19日 Concerto con Gran Passione
- 2023年 4月 3日 オールスターJapan・ガラコンサート
- 2019年 11月 10日 京都 鷺峰山 高台寺 特別演奏会2019
- 2019年 10月 23日 奉納式
- 2019年 10月 25日～12月 15日 大イタリア展
- 2019年 5月 5日 紀尾井ホール ガラコンサート
- 2018年 10月 28日 コンコルソ受賞者リサイタル応援 (大阪)
- 2018年 10月 14日 京都 鷺峰山 高台寺 特別演奏会2018
- 2018年 9月 18日 出雲大社 日伊国際親善 特別記念演奏会
- 2018年 9月 17日 出雲市庁 日伊国際親善 特別演奏会
- 2018年 8月 28日 六本木ヒルズクラブ・特別演奏会
- 2018年 7月 16日～ イタリア芸術音楽フェスティバル
- フェスティバル開催都市 Vicenza, Venezia, Verona, Mntova, Firenze

イタリア世界遺産・世界最古の屋内劇場
 テアトロ・オリンピコ 演奏風景
 イタリア国営放送 RAI も取材。



ギターソロ

マンダリン



ピアノデュオ



チェロ



▲ 京都鷺峰山 高台寺 演奏会



▲ 島根県 出雲大社 演奏会

郵送宛先
お問合せ

〒616-8047 京都市右京区花園宮ノ上町51 (社)日本イタリア協会「ムジカルテ」係
 E-mail▶ info@nipponitalia.com TEL 075-466-5505 FAX 075-466-5510

Italia Concorso MusicArte



世界遺産 ヴィチェンツァ テアトロ・オリンピコ、国際フェスティバル 日本代表



文部科学大臣(当時)とイタリア臨時大使(イタリア公使)、ヴェネト州国立音楽院総裁(カステルフランコペネト国立音楽院学長)、ポーロニャ国立音楽院前学長、ほか



ヴィチェンツァ国立音楽院体験留学



イタリア国立音楽院学長によるマスタークラス



ゴールデンガラコンサート 東京紀尾井ホール

■ 表彰・恩典

全参加者は ※日本イタリア協会会員として登録され、その恩恵をうける。

■ ステッラ部門 ■

グラン・プレミオ・スペチャーレ大賞【特別優秀大賞】	—Gran Premio Speciale—	グラン・プレミオ大賞受賞者の中から特に素晴らしい演奏が認められた者
グラン・プレミオ大賞【最優秀大賞】	—Gran Premio—	最優秀演奏者と認められた者
プレミオ・オーロ【金賞】	—Premio Oro—	優秀演奏者と認められた者

グラン・プレミオ大賞受賞を連覇し、特別に優秀と認められた者へ荣誉ある賞

マニフィカ大賞・「壮麗なる賞」 —Gran Premio Magnifico— ◆イタリア世界遺産国際フェスティバル於表彰◆
【イタリア褒賞ノ之イタリア特別演奏旅行に際するイタリア往復航空券贈与他】

グラン・プレミオ・スペチャーレ大賞【特別優秀大賞】の連覇を果たした受賞者の中から特に優秀と認められた者

グランマエストロ Nakagawa 記念・「大褒賞」 —Gran Premio M^o.NAKAGAWA— ◆イタリア世界遺産演奏旅行特別贈与◆

最高位クラスの連続受賞、技術、芸術力、幅広い角度からの総合評価による最高位の特別褒賞。日本のクラシック音楽の基礎創りと振興に貢献した、グラン マエストロ ナカガワの名の元に授けられる賞

■ クルトウーラ部門 ■

■ 金メダル	—Medaglia d'oro—	最優秀演奏者
◆ 銀メダル	—Medaglia d'argento—	優秀演奏者
■ 銅メダル	—Medaglia di bronzo—	優良演奏者



姉妹都市50周年日伊親善協力
フィレンツェ・
新国立オペラハウス
左:日本イタリア協会
M^o.マエストロ・ルチアーノ・アルベルティ
中:日本イタリア協会 中川くにこ
右:京都市長 門川大作 (敬称略)

出雲大社 「日伊交歓フェスティバル」
駐日イタリア領事(当時)



左からNicola Martinucci, Katia Lolova
Francesco Borrelli (Milano国立音楽院元総裁・大統領顧問),
Cristina Muti (指揮者リッカルドムーティー夫人),
Cunico Nakagawa (日本イタリア協会理事長),
Daniela Javarone, Maurizio Barbacini (指揮者),
Edda Ponti (ヴェルディ国立音楽院教授), Paolo Barbacini



Milanoクザーニ宮殿

MusicArte 国際フェスティバルを支援しているマエストロたち ▲

金メダル受賞を連覇し、特別に優秀と認められた者へ荣誉ある賞

ディアマンテ賞【ダイヤモンド】 —Gran Premio Diamante—

イタリア国立音楽院等・国内外のマスタークラススカラシップ贈与

イタリア世界遺産国際フェスティバル開催

VICENZA<ヴィチェンツァ>国立音楽院一流アーティスト・教授によるレッスン
▼世界的なヴァイオリニスト エンリコ・バルボニー教授(左)・カッリッジ学長(右)



音楽芸術国際フェスティバル「テアトロ・オリンピコ」公式演奏会
イタリア国立音楽院でのマスタークラス、体験留学などの風景

Stella Concorso Musica Arte

第17回 イタリアコンcorso MusicaArte<ムジカルテ>

本選 **Gran Finale** A会場審査日程

Stella (スター)

Cultura (教養)

両部門併願可

【予選 応募締切】

- ・会場審査=参加希望本選開催日の一ヶ月前
- ・オンライン審査=4月末日

予選合格

本選 <表彰>

【グラン フィナーレ】

審査方法はA・Bより選択
※曲目自由(予選と同曲可)

A) 会場審査

以下の全国各地の会場にて実技審査

B) 動画 + オンライン審査

3か月以内収録 審査日時は個別決定

B)の場合、動画とオンライン審査の曲目は重複しても構わない

特別表彰
グラン・プレミオ
受賞者による
オールスターガラ
華麗なる競演
<決戦>

J-com浦安音楽ホール
2024年8月26日(月)開催

A) 本選会場審査日程

【横浜】4月2日 大倉山記念館

【浦安】4月4日 J-com浦安音楽ホール

【大阪】4月7日 NHK大阪歴史博物館講堂

【名古屋】4月29日 スタジオあい
<日本イタリア協会名古屋支部>



東京芸術劇場
(過去授賞式)



左:テアトロオリンピコ館長
右:トップニュースキャスター
(同会)



テアトロオリンピコ<Vicenza>



ヴェッキオ宮殿<Firenze>



Vicenza国立音楽院



テアトロオリンピコ<Vicenza>



Firenze国立音楽院



Venezia国立音楽院

主催 (社)日本イタリア協会

ASSOCIAZIONE ITALO-GIAPPONESE

Mo.Makizo NAKAGAWA 記念



中川 牧三
Mo.Makizo NAKAGAWA
1902.12.7 ~ 2008.3.18

Mo.中川牧三 略歴

1902年 京都市中京区に生まれる。

1910年よりヴァイオリンを学び、

1920年より声楽をモンテ・カルロ王立劇場で活躍したソプラノ、オルガ・カラスロワ氏に、和声を菅原明朗氏に、指揮を近衛秀麿氏に師事。

1930年(昭和5年)、恩師、近衛秀麿氏(筆頭華族・貴族院終身議員、当時の内閣総理大臣近衛文麿氏の実弟、新響[現在のN響]の創始者)に後見人として伴われドイツ、イタリア、アメリカへと留学。ベルリン国立音楽院に留学。指揮法をオット・クレンペラー、作曲をヒンデミット、ヴァイオリンをカール・フレッシュに師事、声楽をワイセンボーンに師事。

後にミラノに移り、国立音楽院と国立スカラ座歌手養成所へいずれも初めての日本人学生として入学。発声をアルフレッド・チェッキに師事。1932年(昭和7年)ピアチェンツァ王立歌劇場に初めての日本人歌手としてデビュー。トスカニーニ夫妻はじめ、ラベル、マスカーニ、ジョルダナーらとの華やかな交流は、当時の社交界の注目と関心を集めた。

音楽学とスパルティートに師事したマルティーニ教授とともに渡米、州立南カリフォルニア大学へ入学。音楽学とオペラ史を本格的に研究。ハリウッド映画の名門「MGM」会長夫妻の抜擢を受け、当時超一流シアターと云われたハリウッド随一のチャイニーズ・グローマン劇場にて、初めての日本人としてリサイタルを開催。演奏活動の最中、1935年(昭和10年)、戦雲急を告げ、やむなく急遽帰国。帰国後、学校教育や音楽活動と相まって、国民運動として全日本合唱連盟や全日本吹奏楽連盟など数々の音楽活動団体を創設、音楽普及運動に傾注。当時京都で隆盛を極めた日本映画界、教育界の軸線的な指導者として活躍。

第二次世界大戦勃発後、「日独伊三国同盟」に於いて唯一人の陸軍総代表として上海で日独伊国際外交を担当。中支派遣軍司令部参謀部付幕僚として上海陸軍報道部も兼務。スポークスマンを努めるかわら文化担当将校も兼務。当時最高水準の西欧人ソリストらによって編成された「上海市交響楽団」や「ロシアンバレエ」を自ら指揮し、総監督も兼務。音楽家として、総プロデューサーとして、文化担当将校として、あらゆる面から文化活動を支援した。近衛秀麿、山田耕筰、朝比奈隆、服部良一、李香蘭、白井鉄造、小牧正英はじめ、八十数名の音楽家や文学者、舞踊家などを次々と上海へ招聘。「東洋のバリ」「東洋の魔都」と称された上海で文化運動を推進。戦後の日本文化にも大きな影響を与えた。迫害を受けた多くのユダヤ人を人道保護し、騎士道を貫いた数々の功績や、戦禍の元、上海で繰り広げた国境を越えた平和的活動が後の国際裁判軍事法廷にて現地の西欧人らの証言によって次々と明らかになされ、話題となった。

終戦後まもなく、進駐軍と毎日新聞社の支援のもと、関西における最初の本格的なイタリアオペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」を東フィルを招聘して上演。「パリアッチ」「リゴレット」「椿姫」「蝶々夫人」「オルフェオ(本邦初演)」「ルチア(本邦初演)」「アミーコ・フリッツ(本邦初演)」他、演出、指揮、翻訳、全てを自ら手がけて指揮指導し、京都、大阪、奈良、滋賀をはじめ近畿各地にて次々と上演。現在の関西のオペラの基礎を築いた。音楽教育と普及運動に傾注する傍ら、京都芸術大学、大阪音楽大学、大阪芸術大学、名古屋芸術大学、京都外国語大学…をはじめ、各地の大学やオーケストラ、音楽団体の創設に中心的存在として関わった。

日本とイタリアの文化交流の先駆者として、イタリアオペラに功労を遂げた第一人者として、イタリア政府から「カヴァリエレ・ウフィチャーレ勲章」を叙勲。

1959年G・ヴェルディ生誕の地、イタリア・ブッセート市主催「ヴェルディ国際声楽コンクール」へ初の邦人審査員として招かれ運営委員及び審査員を24年間務めわが国の声楽家をイタリアへ導く基礎を築いた。併せてブッチーニコン、マリア・カナルスコン、ヴェローナコン、ジリコン、マリオ・デル・モナココン、トゥーティ・ダルモンテコン、トレヴィーゾコン、ローザ・ボンセルコン、コセンツァコン、セニガリアコン、ストゥレーザコン、ベッリーニコンほか、数々の国際コンクールへいずれも最初の日本人審査員として多年に亘って招かれ実行委員並びに審査員を2007

年春(104歳)まで、生涯現役で務めた。

国内では「日本音楽コンクール」(毎日新聞社・NHK主催)全部門の運営委員及び審査員を38年間努め、「全日本学生音楽コンクール」(毎日新聞社主催)を創始、毎日新聞社の文化活動に数多く携わり援助した。

本年第40回を迎える「イタリア声楽コンクール」(日本イタリア協会・毎日新聞社主催)を1969年より創始主宰、審査委員長。コンクール出身者のみならず数多くの志望者の後見人となり、イタリアの主要国立音楽院やスカラ座歌手養成所等の国立機関へ半世紀に亘って導いた。

イタリアはじめ欧米各国より、黄金時代の巨匠といわれた演奏家や教育者、学者らを、戦後まもなくいち早くから次々と招聘。数多くの講習会や演奏会を内外で開催。

105年に亘る生涯を音楽にかけたわが国の音楽界の巨匠・マエストロ・ナカガワの活動は「日本イタリア協会」に引き継がれている。

トゥーティ・ダルモンテ、ベンジニャーノ・ジューリ、ジューノ・ベーキ、ジョルジョ・ファバレット、レナータ・テバルディ、ジュリエッタ・シミオナート、ジョゼッペ・タッディ…をはじめ、多くの黄金時代の名巨匠らとの戦前からの深い親交は周知の通りで、殊に、世紀のテノールと呼ばれたマリオ・デル・モナコや名門ヴェルディコンクールを創始した名テノール・アレッサンドロ・ジリアーニとは、1930年代イタリア留学時代からの同門の無二の親友であった。

2000年 「マルタ騎士勲章」授受

2001年 「マルタ・大騎士大使勲章」(グラン・アンバシャトーレ勲章)授受

2004年 2月と4月、101歳世界最高齢の現役指揮者としてオーケストラを指揮。

2004年 国際ソプラニスト日本財団「千嘉代子賞」授受

2005年 京都府文化賞「特別文化功労賞」授受

2005年 文化庁長官表彰 授受

2005年 イタリア政府より最高位勲章『連帯の星』

「グランデ・ウフィチャーレ勲章」授受

2008年 逝去後、天皇陛下の御裁下並びに閣議決定により

「旭日小綬章」追贈授受

ヴィヴァルディ国際学会名誉会員、テバルディ財団最高顧問並びに特別名誉委員、日本イタリア協会 創始者 初代会長、松下電器産業株式会社(現パナソニック)顧問

実父は京都市葛野郡会議長を明治、大正に亘って努めた故中川源太郎。

実兄は京都府会議長、衆議院議員、日本遺族会創始者・初代会長の故中川源一郎。

主催 一般社団法人 日本イタリア協会 イタリアコンクールMusicArte<ムジカアルテ>

所在地 〒616-8047 京都市右京区花園宮ノ上町51

連絡先 TEL 075-466-5505 FAX075-466-5510

ウェブ <http://nipponitalia.com/> メール info@nipponitalia.com



ルカ・ガリレオ・チュッフォレッティ・デシデリオ
Luca Galileo Ciuffoletti Desiderio
 日本イタリア協会特別顧問・芸術総監督
 イタリアコンコロソMusicArt 審査委員長
 バイオリニスト・作曲家



中川 くにこ
M. Cunico NAKAGAWA
 日本イタリア協会理事長
 イタリアコンコロソMusicArt
 総務委員長
 ソプラノ歌手

Message

Dear Artists,

I congratulate with all of you for having reached the prestigious day of the edition of Italia Concorso MusicArte 2024.

This year too the level was extraordinarily high and we have witnessed some truly remarkable performances. The ssociazione Italo Giapponese, under the passionate direction of the internationally acclaimed artist Cunico Nakagawa, is offering to all of you a truly unique opportunity to grow as artist and test your abilities and talents. Italy too is following closely these events and, as artist myself, from Italy, I would like to wish you the very best for your career and life. Do continue discovering the beauty of music and art, always with an open mind and searching for new ways to be inspired. We are looking forward to seeing you performing, in the near future, in Italy.

Luca Galileo Ciuffoletti Desiderio

アーティストの皆様へ、

イタリアコンコロソムジカルテ2024の栄えある日を迎えられましたことを、皆さんとともにお祝い申し上げます。今年度も非常にレベルが高く、本当に素晴らしい演奏を目の当たりにすることができました。日本イタリア協会は、国際的に高い評価を得ているアーティスト、中川くにこ氏の情熱的な指揮のもと、自分の能力と才能を試しながらアーティストとして成長できるまたとな機会を皆さんに提供しています。イタリアもこのイベントを注視しており、イタリア出身のアーティストとして、皆さんのキャリアと人生に幸多かれと祈りたいと思います。音楽と芸術の美しさを発見し続け、常にオープンマインドで、インスピレーションを得るための新しい方法を探求し続けてください。近い将来、あなたがイタリアで演奏するのを見るのを楽しみにしています。

「才能を育て導くコンクール」としてより多くの音楽家を支援すべく生まれた「コンコロソMusicArte」。

五線譜やオペラ、ピアノ、弦楽器など西洋音楽の礎(いしずえ)とルネッサンスの国イタリアならではの「軽やかさ」と「響き」の美しさをこのコンコロソを通じて発見していただきたいと存じます。音楽は自由・創造性、謙虚・人間愛などの内面がそのまま表れます。心に響く演奏力が輝きますように。

コンコロソの審査は、世界的活躍トップアーティスト・国立音楽院総裁・学長らによって国際水準で執り行われ、単に「日本一」を選ぶというよりも、エレメントをのびのびと発揮していただき、優美な雰囲気の中で才能の宝を見つけ出し大切に育てるコンコロソでありたいと希っています。そして世界的なマエストロ方と直接ふれあうこともできる、従来のコンクールとはひと味違ったコンコロソを目指しています。入選者や受賞者には、国内外の国立機関、各市・県主催による宮殿・寺社仏閣・博物館や美術館での特別演奏をはじめ、イタリアでは世界遺産テアトロオリンピコで開催される国際フェスティバルに日本代表として出場、国立音楽院主催演奏会・国立音楽院体験留学など、歴史と芸術的蘊蓄が込められた大舞台でさまざまなチャンスが与えられます。

この度「文化庁」が京都へ移転されました。本協会は半世紀以上に亘り、数百名の若者たちを、世界の中でも最高位の歴史伝統を誇る、ミラノ・シエナ・ヴェネツィア・ボローニャ・パルマなどイタリア国立音楽院へ特別推薦入学〈授業料免除〉を行い支援し導いてまいりました。イタリア国立音楽院と直結したコンコロソは世界でも例はなく、日本を代表する多くの音楽家を育成輩出してまいりました。そのポリシーは花や実をつけるように弟子・孫弟子・曾孫弟子達へとひき継がれています。

2015年は半世紀前にマエストロナカガワが推進した「フィレンツェ京都姉妹都市締結50周年」にあたる年で、同時期に日本で初めての市立オーケストラとして創始した「京都市交響楽団」が渡伊し、6月初旬フィレンツェ新歌劇場にて「フィレンツェ京都・姉妹都市記念公演」を開催し交流を深めました。1930年代、マイクも発達していなかったクラシック音楽黄金時代に、近衛秀磨氏(日本のオーケストラの祖、指揮者、新響、NHK交響楽団創設者)に伴われ、ドイツ、イタリア、アメリカへと長年留学し、カールフレッシュやフルートベンダラー、ヒンデミット、マスカーニ、など世界最高峰・芸術の神と云われた歴史上の巨匠達からバイオリン、指揮、声楽・オペラ・音楽学などを学び直伝を授かった幸運と、古い友情を何よりも大切にしたマエストロ・中川の特性と人格が生かされた交流が今日に引き継がれています。国際人として貫いた人間愛、音楽への純真誠心、明治生まれの京都人の質実剛健と真摯な心を改めて深く思い、本協会は今後も努力邁進を重ねてまいりたいと存じます。

基本を極め、技巧を磨き、輝く響きと鮮明なライン、
 深い思いやりと人間力、国際力を高めて心を打つ、
 人を感動させる、優しい感性が香を放つ、
 そんな表現のできる芸術家を目指していただきたいと希っています。



すみだトリフォニーホール



2013年7月 イタリア世界文化遺産 国際フェスティバル芸術祭



ルチアーノ・アルベルティ
Mr. Luciano ALBERTI

日本イタリア協会
特別顧問・運営委員
元シエナ・キジアーナ国立音楽院学長
演出家・音楽学者

日伊文化交流の一環として、日本イタリア協会理事長の中川くにご先生が毎年各市と共催し、開催されている若手演奏者によるコンサートが、フィレンツェでも行われました。非常にレベルの高い素晴らしい音楽が、フィレンツェの中心に位置するヴェッキオ宮殿の500人広間に鳴り響き、才能あふれる若き演奏者は拍手喝采を浴びることになりました。あの場でご挨拶をさせて頂いた私は、日本とイタリアの音楽の架け橋となった、マエストロ中川牧三と友達だったことを、ちょっぴり自慢気にお話して、さらに彼との思い出について言及した際には、とても感慨深いものがありました。私達の交友がどれほど長きに渡ったことでしょうか。始まりは半世紀以上前の戦後間もなくからで、マエストロがたくさんの若い日本人歌手をイタリアへ連れていらっしやっただ事でした。私が20年以上学長を務めたシエナのキジアーナ音楽院で、ジーノ・ベーキ、ジョルジョ・ファバレット、エットーレ・カンボガリアーニ、カルロ・ベルゴンツィといった有名講師達の講座を受けさせるのが目的でした。その長きに渡る生涯のなかでマエストロ中川牧三は、こうした講師達とご自身がテノールの道を歩み始めた若かりし頃、よくご存知だったベルカントの伝説的存在、ベニアミーノ・ジーリヤティート・スキーパー、アウレリアーノ・ペルティレたち世代の橋渡し役となりバトンを渡されました。またイタリア声楽とオペラをこよなく愛していらっしやっただマエストロは、マリオ・デル・モナコやレナータ・テバルディ、そしてマグダ・オリヴェーロのような永遠の歴史的スターとも懇意にされていました。

現在、そのリレーのバトンはそれらの歴史的巨匠の元で研鑽された既存のキャリアをもつ中川くにごに託されております。

ルチアーノ・アルベルティ



カルミネ・カッリージ
Mr. Carmine Carrisi

日本イタリア協会
特別顧問・運営委員
元ボローニャ国立音楽院学長
ピアニスト・指揮者

マエストロ中川牧三氏が初代会長を輝かしく務められた日本イタリア協会と初めてご協力させていただいてから、30数年もの時が経ちました。その間私は、「G・パッティスタ・マルティーニ」ボローニャ国立音楽院の学長として、いつも有意義で実りある仕事に携わせていただき、奥行きのある重要な音楽プロジェクトで一緒できました。こうしたことは、マエストロ・中川氏の努力、情熱、意志とプロ精神、そして後に総務委員長を務められた中川くにご先生の積極的な活躍の賜でございます。おかげさまで、日本イタリア協会とイタリアの公私それぞれの機関との文化交流は、ますます活発に発展してまいりました。とりわけミラノ、ヴェネツィア、ローマ、ジェノヴァ、ヴィチエンツァ、ヴェローナ、シエナ、ボローニャ、フィレンツェといったイタリア諸都市の国立音楽院との関わりには、眼を見張るものがあります。マエストロ中川氏とくにご総務委員長は、バイタリティーに溢れた魅力ある企画をいくつも進められ、若い世代の才能豊かな音楽家や若いホープを筆頭に、多くの聴衆の関心を集められました。声楽やムジカアルテのマスタークラスやコンコルソ、そしてヴィチエンツァのテアトロ・オリンピコで行われる演奏会は、イタリアの音楽界と国立音楽院にとって、大事な恒例行事としますますます重要度を増しております。有名な指揮者、教授、作曲家、声楽家や演奏者が毎年数多く参加し、音楽文化の発展に具体的に寄与しております。

日本イタリア協会への具体的かつ理解を持った支援が、今後ますます大きなものとなりますことを願っております。とりわけ、発起人の中川くにご理事長をはじめとして、この歴史ある優れた協会の発展のために献身的に尽力されている皆さまが、奨励されて、支援を受けられることを大いに期待しております。

カルミネ・カッリージ



アルベルト・クピード
Mr. Alberto CUPIDO

テノール歌手
日本イタリア協会特別顧問・運営委員
■イタリアコンコルソMusic Arte審査運営委員
■イタリア声楽コンコルソ(日本イタリア協会/毎日新聞社共催)審査運営委員

マエストロ中川くにごが、創始された「コンコルソMusicArte<ムジカアルテ>」の予選～セミファイナーレを見事にパスした演奏家の中から「受賞者」と「日本代表」を選ぶという、名誉かつ責任ある役目をいただくにあたり、公正・公平を期すことを誓います。

より優れた表現力、技術力、そして素質を発揮する参加者を見極めるためにも、長年にわたって私たちが世界各地の劇場で培ってきた経験、そして講師として積んできた経験の両方を十分に生かしてまいります所存です。

さて、参加者の皆さまには、心よりエールを送ります。これは私見ではありますが、自己批評をしながら一所懸命に目標を目指していれば、決して優勝者だけではなく、どの参加者にとっても実りある明るい音楽の将来が待っているはずです。

こうして皆さまへのご挨拶を綴っておりますと、2011年以降ほぼ毎年イタリアのサンタ・マルゲリータ・リグレヤラパッコなどで行われている(このコンコルソから飛びたった)日本人による素晴らしい演奏会、あの大成功が思い出されます。幸運にもあの場に居合わせた聴衆の記憶には今もなお興奮とともにとどまっていることでしょう。

改めて皆さまのご健闘を祈念いたします。

アルベルト・クピード

黒田安紀子・クピード

黒田安紀子・クピード
Ms. Akiko KURODA CUPIDO

ソプラノ歌手
日本イタリア協会特別顧問・運営委員
■イタリアコンコルソMusic Arte審査運営委員
■イタリア声楽コンコルソ(日本イタリア協会/毎日新聞社共催)審査運営委員



イタリア世界文化遺産・重要建築（宮殿・遺跡）舞台上で開催される国際フェスティバルは、世界遺産「テアトロ・オリンピコ」、ヴェッキオ宮殿「五百人広間」はじめ、イタリア全五ヶ所の会場すべてが満場となった観客の前で日本代表が堂々と演奏し、何ものにも代え難い貴重な経験と誉れに…。



イタリアオペラの最重鎮
マエストラ マグダ・オリヴェーロと共に…



ボローニャ国立音楽院元学長
日本イタリア協会 特別顧問・運営委員



市庁舎迎賓館・市長主催歓迎式典



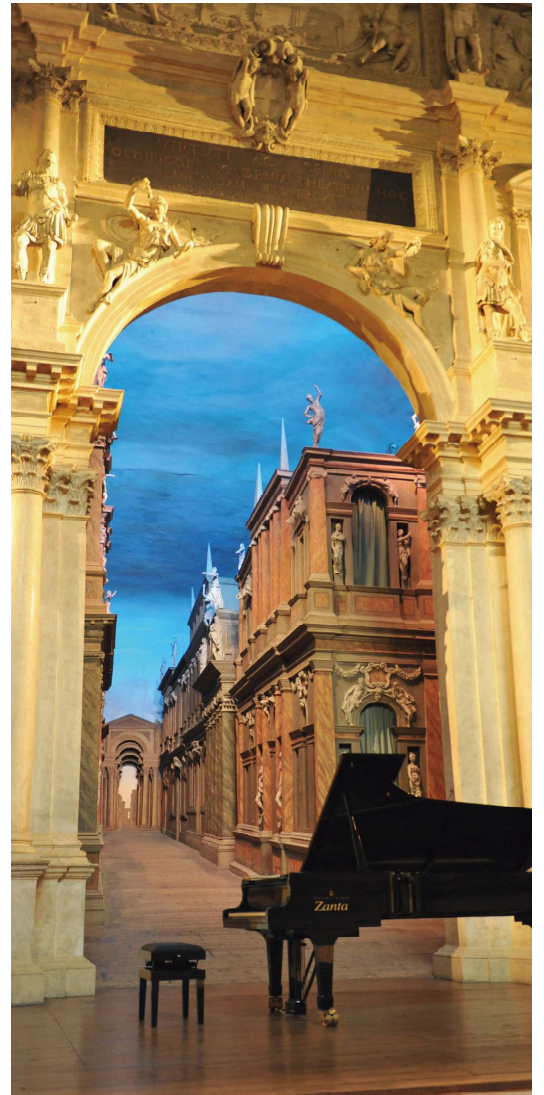
テアトロ・オリンピコ館長とトップキャスト



▲現フィレンツェ市庁舎であり、あまりに有名なイタリア屈指の世界文化遺産のひとつであるヴェッキオ宮でも開催。毎回、市をあげてご支援頂く一大フェスティバルとなっている。



▲ヴェッキオ宮殿内の「五百人広間」。天井やその周囲の壁面にいたるまで絵画で埋め尽くされ、圧倒的な存在感と悠久の時間を感じさせてくれる芸術空間。



▲この奇跡の舞台に立てるのは、現地イタリア人の一流音楽家でさえ難しい。日本イタリア協会創始者マエストロ・中川牧三が戦前から築いてきた深い人脈と信頼により、日本の若き音楽家を最高峰の舞台へと導く。



▲夢の舞台で経験を笑顔で称え合う若き受賞者たち。国際フェスティバル開催時に展示するため日本の重要文化財・京都 高台寺からご提供いただいた豊臣秀吉の正室「ねね様」のご衣裳とともに。



▲挨拶はマエストロ中川牧三と古くからの親しい友人であるルチアーノ・アルベルティ氏（元シエナ国立音楽院学長・演出家・元ドニゼッティ国立歌劇場・ブッハーニ国立歌劇場総監督）



毎年イタリアでの注目が非常に高く新聞の一面を飾る。2012年の記事ではイタリアオペラ界の最重鎮であるマエストロ マグダ・オリヴェロのお姿も。著名音楽家だけでなく前駐日イタリア大使閣下やミラノ侯爵、NATO 最高位将軍閣下など通常では考えられないVIPに多数ご来賓頂き、華々しく開催され、大成功裏に閉幕となった。

イタリアを代表する世界文化遺産・重要文化財の国際舞台において日本全国から選出された才能溢れる若き音楽家達がレベルの高い演奏を大舞台において堂々と披露。音楽に造詣深いイタリア人の心に深く響いた名演奏は、日本とイタリアの文化の絆がしっかりと結ばれた感動的な瞬間となります。

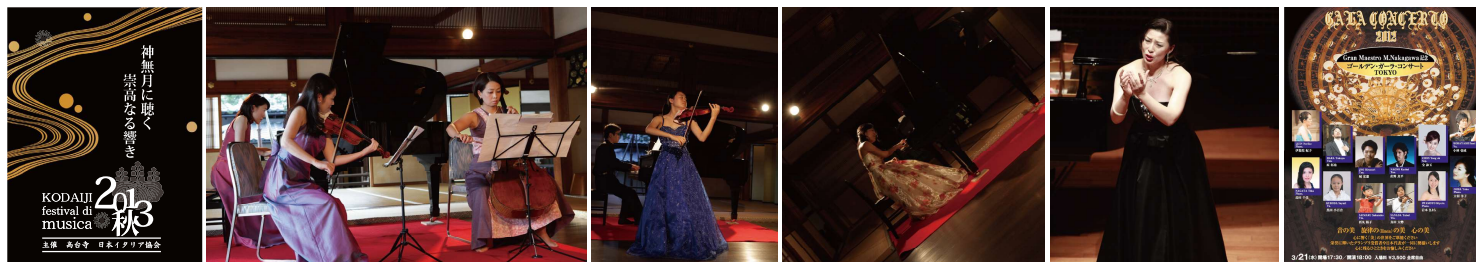
2014年開催のイタリア名門5箇所で行われた国際フェスティバル芸術祭は、イタリア外務省 EU Direttore Generale 閣下（前駐日イタリア大使）、国立音楽院学長、Milano ヨーロッパ NATO 最高位将軍閣下、ミラノ公爵、ミラノスカラ座関係者、在ミラノ日本領事など、各所大勢のVIPに見守られる中、連日満員のお客様に温かく包まれて喝采をうけました。

イタリア国際フェスティバル「イタリア世界遺産芸術祭」は、日本とイタリアの親交が深まった重要な機会であり、日本人の芸術文化力でイタリア人を感動させ、親近感と同時に文化力レベルの高さを直接伝えることができる素晴らしい国際外交であることを確信いたします。

世界史に残る大舞台における貴重な体験の場を今後も継続して提供し、わが国の情懷豊かな国際力を併せもつ優秀な人材を育むためにも、慎ましく努力する日本の美德を誇りながら、芸術の宝庫イタリアと日本を結ぶ文化の懸け橋となって、更なる国際交流を繋げて参りたいと存じます。

経験し、体感し、学び、楽しみ… 日本国内でも音楽家としての成長を支援

京都の「高台寺」や鳥根県の「出雲大社」での演奏会、東京の「紀尾井ホール」や「六本木ヒルズクラブ」でのゴールデン・ガーラ・コンサートをはじめ受賞者・優秀者にはイタリアへの留学や世界遺産での演奏活動だけでなく日本国内でも様々な演奏機会が与えられます。経験を積むことで世界的な飛躍を遂げています。「イタリアコンコルソMusicArte」から新たにそのチャンスを手に入れる音楽家がたくさん生まれる事を希ってやみません。





イタリアの誇る世界遺産 Teatro Olimpico (テアトロ・オリンピコ)
世界一美しい…と呼び声高い彫刻に包まれた世界最古の屋内劇場で日本代表が演奏する様子は、
トップキャスターの司会進行のもと華やかに催される。